

# キャリア支援の現場から

学事課長 永友 貴之

## 自分のキャリアを考えることに “早すぎる”はありません

現在の就職活動のキーワードは、“早期化”と“多様化”です。この数年で学生を取り巻く環境は、それ以前のものとは大きく変化しました。コロナ禍においては採用を控えていたサービス業や飲食業、観光関連、航空業界は積極的な採用活動を展開しています。どの企業でも人材不足が問題となり、若者獲得のため採用活動が早期化し、若者と接触機会を容易にするため、オンラインと対面が併用されています。

本学のキャリア形成支援・就職活動支援は、学科と各学生の志向性によってキャリアプランが大きく異なるという特徴があります。一般企業へ就職する学生は、学科によってその割合は異なりますが、サービス業や金融・保険業、運輸・郵便業、卸業・小売業等の多岐にわたる職種を目指すこととなります。

一方で、取得した資格・免許を活かし専門職として就職する学生も多くいます。文化コミュニケーション学科(2024年度入学者より「言語文化情報学科」)における中・高校教諭や図書館司書、地域包括支援学科における社会福祉士、精神保健福祉士や介護福祉士などの医療・福祉分野、こども教育保育学科における小学校・幼稚園教諭や保育士などがその例です。そして、地域包括支援学科(2024年度入学者より「福祉・心理学科」)では、公認心理師を目指し、本学大学院へ進学する学生もいます。

このように学生の就職意向には大きく①一般企

業へ就職と②専門的な資格を活かした就職の2つがあります。本学では、これらの学生ニーズに対応したキャリア支援と就職活動への支援を行っています。

さらに本学は全学科男女共学化以降、公務員に対する志向も増えています。公務員は、国・県・市町村の行政職員、福祉・心理の専門職員から警察・消防、法務、自衛官、さらには独立行政法人等の準公務員まで職種が幅広くあり、その受験対策も異なります。カリキュラムで必要な力をすべて身に付けることは難しいため、対策講座の開設や、大学の専門学校等と連携し学習の場を提供しています。これらの講座は一部を除き、1年次から参加することが可能で、実際に利用する学生は増加しています。

また企業の採用活動におけるオンラインへの対応が一般化したことで、学生はオンライン上の表情の写り方など面接を行う際の新たな環境を整える必要があります。本学ではメイクアップや身だしなみに関する講座も実施しています。

本学での学びをいかに将来の職業人として生かし、繋げていくのがキャリア形成支援・就職支援では重要となります。そのような動機づけを学科の特性と学年を考慮し、必要な時期に必要な内容を随時的に情報提供し、積極的に関わっていただけるサポート体制づくりを進め、学生の自己実現の一步を応援していきたいと考えています。

## 長崎純心大学のキャリア支援

### インターンシップ参加の促進

長崎インターンシップ推進協議会が募集するインターンシップのほか、個別の会社訪問を含む就業体験をバックアップします。企業の理解を得て実施した個別のインターンシップが採用につながったケースもあります。

### 学内説明会の受入れと実施

2023年度は100以上の個別企業説明会を学内で計画しました。より具体的な質問が企業の採用担当者にできるよう、少人数制を基本に実施しています。

### 個性をもったセミナーの実施

キャリア形成のヒントになる少人数制のセミナーを実施しています。将来の自己実現に向け、何から始めたらいいかわからないなど、学生の今の疑問に向き合います。

### 初年次教育の取組み

働くこと、企業や社会のことについてさまざまなデータを共有し、いずれ訪れる就職活動に向け、大学生活をどう過ごしていくかを共に考える授業も展開しています。